

# 2016年度 環境会計情報

集計範囲:大阪いずみ市民生協の事業活動全般

対象期間:2016年4月1日~2017年3月31日

## A 環境保全コスト

分類	主な取り組みの内容	2016年度		2015年度		2015年度との差	
		投資額	費用額	投資額	費用額	投資額	費用額
事業エリア内コスト		33億9,315万円	7,261万円	1億2,586万円	5,521万円	32億6,728万円	1,740万円
内訳	(1)-1 公害防止コスト	0万円	488万円	0万円	372万円	0万円	116万円
	(1)-2 地球環境保全コスト	33億9,315万円	2,179万円	1億2,586万円	122万円	32億6,728万円	2,058万円
	(1)-3 資源循環コスト	0万円	4,594万円	0万円	5,028万円	0万円	-434万円
上・下流コスト <sup>*1</sup>	・容器包装リサイクル・宅配カタログ類リサイクル ・宅配内袋リサイクル・エコ袋プレゼント ・再商品化委託・グリーン購入 など	0万円	5,293万円	0万円	4,326万円	0万円	967万円
管理活動コスト	・内部監査、監査員研修・ISO更新審査 ・マネジメント推進会議・職員への環境教育 など	0万円	1,437万円	0万円	1,118万円	0万円	320万円
社会活動コスト	・組合員の環境活動支援、補助 ・CSRレポートの作成・環境NPO等の分担金 など	0万円	980万円	0万円	1,617万円	0万円	-637万円

	2016年度		2015年度との差	
	投資額	費用額	投資額	費用額
合計	33億9,315万円	1億4,971万円	32億6,728万円	2,390万円

### 環境保全コストの評価

投資額の大幅な増加は、京都府亀岡市で7.5メガワットの太陽光発電所の建設があったためです。その他の投資の内容は、新たな事業所の開設の際に、省エネ機器等を導入したものです。費用の増加は、主にあゆみ野物流センター内の事業所拡張に伴う、残土処分などの費用です。

## B 環境保全効果<sup>\*2</sup>

事業活動に投入する資源に関する効果	環境保全効果を表す指標		2016年度実績	2015年度実績	2015年度実績との差
	エネルギーの投入	電気(万kWh)	3,389万kWh	3,221万kWh	168kWh
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	都市ガス(m <sup>3</sup> )	49,959m <sup>3</sup>	54,031m <sup>3</sup>	-4,072m <sup>3</sup>	
	プロパンガス(m <sup>3</sup> )	329m <sup>3</sup>	430m <sup>3</sup>	-101m <sup>3</sup>	
	ガソリン(L)	775,700L	737,154L	38,546L	
	軽油(L)	378,711L	370,203L	8,508L	
	LPG(L)	0L	0L	0L	
エネルギー消費によるCO <sub>2</sub> 排出量(トン)		13,213トン	17,062トン	-3,849トン	
事業活動から排出する財・サービスに関する効果	廃棄物等の排出	一般廃棄物(kg)	1,109,660kg	1,069,331kg	40,329kg
	廃棄物リサイクル量	再生資源ごみ	6,418,455kg	6,294,909kg	123,546kg
事業活動から産出する財・サービスに関する効果	商品カタログ・チラシ類	5,292,121kg	4,728,191kg	563,930kg	
	牛乳パック	118,190kg	111,540kg	6,650kg	
	食品トレイ	12,461kg	10,255kg	2,206kg	
	ペットボトル	41,042kg	38,094kg	2,948kg	
	たまごパック	40,864kg	40,363kg	501kg	
	宅配事業内袋	87,604kg	86,601kg	1,003kg	

## C 環境保全対策に伴う経済効果

	効果の内容	金額
収益	リサイクルによる有価物の売却収入	5,921万円
	マイバッグ運動によるエコ袋の販売	47万円
	太陽光発電による売電収入	3億5,772万円
経費節減	発生抑制又はリサイクルに伴う廃棄物処理費の節減	299万円

### 環境保全活動の評価

事業の伸長にともないエネルギー消費が増え、排出CO<sub>2</sub>も増加しています。使用割合が最も多い電気については、主な供給元である子会社の(株)コンシェルジュが排出権クレジットを購入し、排出係数を低減しています。2016年8月より、京都府亀岡市に7.5メガワットの太陽光発電所が稼働したため、売電収入が大きく伸長しています。

## 環境会計とは…

**1** 環境会計とは、事業体の環境活動を「投資額」「費用額」「費用対効果」などの会計的側面から把握・評価することを通じて環境活動の実態をより正確に把握・評価・開示するとともに、環境活動における費用対効果の改善をはかるものです。

**2** 環境にかかわる投資や費用の算定には、環境にかかわる費用からそれ以外のものを除去して計上(低公害車の場合、当該車両金額と同等規模で低公害車でない車両金額との差額)する方法と、全額を計上する方法があります。この環境会計情報は全額計上で作成しています。

### 【用語の解説】

※1「上・下流コスト」とは事業活動に伴って上流(生産者など)・下流(配送後など)で生じる環境負荷を抑制するためのコストをいいます。  
※2「環境保全効果」とは、会計数値には反映されない環境負荷の変化を数値で示したものです。

### 会費を払っている環境民間非営利団体(NPO)など

- 特定非営利活動法人(NPO法人)  
地球環境と大気汚染を考える全国市民会議(CASA)
- 自然エネルギー市民の会
- 大阪から公害をなくす会 など